



兵庫県立 ひょうご こころの医療センター 連携施設

精神科専門医研修プログラム

Hyogo Prefectural Hyogo Mental Health Center

Psychiatry Residency Programs 2025

CONTENTS



院長からのメッセージ	3
兵庫県立 ひょうご こころの医療センターについて	4
プログラム概要	6
専攻医募集要項	1 1
お問い合わせ先	1 2

院長からのメッセージ

当センターで研修を考えている皆さんへ

兵庫県立ひょうごこころの医療センターでの専門医研修に興味を持っていただきありがとうございます。

当院は昭和12年に設立された、長い歴史を持つ公立の精神科病院です。開設当時は「光風寮」、その後「兵庫県立光風病院」に名称を変え、さらに2017年4月に現在の名称となりました。当院を以前からよく知る関係者には、今も親しみを込めて「こうふう」と呼ぶ人が少なくありません。

当院の掲げる大切な理念の一つは、すべての世代のすべての精神医学的問題を有する方に最適な医療を提供することです。さらに必要な時に速やかに適切な急性期治療を提供することです。そのために当院では、夜間・休日を問わず稼働する精神科救急医療センター、児童思春期センター「ひかりの森」、依存症医療センターを整備し、それぞれ専門病棟を有する体制で診療を行っています。さらに認知症疾患医療センターでは神戸市に指定された専門医療機関として、鑑別診断や治療に当たっています。当院での専門医研修ではまず、これらの専門領域を一定期間ごとにローテーションしていただきます。一般的な成人の精神科診療はもちろん、精神科救急、児童思春期、依存症のどの領域も専門病棟を持ち、専門家の指導のもとで研修できる環境は、わが国全体を見ても決して多くはありません。また、身体疾患の治療に伴って生じる精神医学的問題に適切に対応できることも、精神科医として必要な能力の一つです。このため3年間の研修期間のうち一定期間は、連携する総合病院で研修していただきます。この総合病院には神戸大学医学部附属病院、神戸市立医療センター中央市民病院、兵庫県立はりま姫路総合医療センター、兵庫県立尼崎総合医療センターなどが含まれますが、いずれの医療機関も日常診療の中で連携やサポートする機会の多い病院ですので、よりリアルで深みのある研修になるはずです。3年間の研修期間の目標は、もちろん、精神科専門医の資格を取得することです。それと同時に精神保健指定医の取得も目指していただきたいと思います。そのために必要な症例は豊富にあります。いずれにせよ、ここでの研修を終えた時に、まずは一人前の精神科医になれたと自身の成長を実感できるだけの材料は揃っています。私たちは、そのためのサポートに力を惜しみません。

今の精神医学や精神医療には、多くの課題があります。皆さんが精神医学を志し、専門医研修を受け、精神科専門医として羽ばたいていくことは、精神医学や精神医療にとっての大きな希望です。ここでの出会いや研修は、そのための礎になると信じています。多くの方の応募をお待ちしています。



兵庫県立 ひょうご こころの医療センター

院長 青山 慎介

兵庫県立 ひょうご こころの医療センターについて

1) ひょうごこころの医療センターの歴史

昭和 12 年に県立精神科病院光風寮として開設されました。精神科医療の発展、分化に伴って病棟はアルコール症治療専門病棟、思春期病棟、社会復帰病棟等などそれぞれ特徴をもって多彩な精神科医療のニーズに応えてきました。平成 19 年 10 月救急医療センターを開設し、兵庫県精神科救急システムの基幹病院として精神科救急患者への対応を開始し、平成 21 年には訪問看護など地域生活の支援を開始、さらに平成 25 年 6 月より児童思春期病棟を開設しました。平成 29 年 1 月より神戸市の認知症疾患医療センターに指定されました。平成 29 年 4 月より、病院名を兵庫県立光風病院から兵庫県立ひょうごこころの医療センターへ変更しました。

2) 施設としての特徴

当院は精神科救急病棟、アルコール依存症病棟、児童思春期病棟等を有し、認知症や薬物関連障害、発達障害、ストレス関連障害、触法・難治症例などへの治療や社会復帰支援など、各病棟はそれぞれ機能別に運営されています。入院患者はそれぞれの疾患や病状に応じて、より適切な入院環境での治療が行われるように配慮されています。

精神科救急病棟(83 床)では兵庫県精神科救急情報センターとの連携を取りながら、精神科救急患者の治療に当たっています。措置入院、応急入院などの精神科 3 次救急に相当する症例を多く経験でき、精神科救急での診断技法、治療対応や急性期病棟でのリハビリテーションや心理教育などを学ぶことができます。アルコール依存症病棟(53 床)では院内断酒会、講義など、リハビリテーション入院を基本とした治療プログラムが行われています。兵庫県のアルコールについての依存症治療拠点病院として、依存症に対する専門医療を提供しています。児童思春期専門病棟(65 床)(分教室併設)では児童相談所や学校などの関係機関と連携を図りながら児童思春期精神科医療の向上と専門医の育成に努めています。児童思春期心性や家族へのアプローチなどを学ぶことができます。平成 29 年 1 月より、認知症疾患医療センターを開設され、老年期の認知症関連の診断や治療を行っています。また司法精神医学の分野では、医療観察法に指定通院医療機関に指定されており、対象者の鑑定や診察を行なっています。また起訴前簡易鑑定、司法精神鑑定を積極的行なっており、司法精神医学分野でも兵庫県で中心的役割を担っています。難治性精神疾患に対してはクロザピンや修正型気けいれん療法(m-ECT)などの治療も取り入れています。地域と連携を図りながら退院促進が行われており、多職種の専門性を活かした関わりや地域生活の支援の実践について学ぶことができます。

・疾患別入院数・外来数（2024 年度）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	208	54
F1	285	149
F2	788	302
F3	809	269
F4 F50	1114	195
18 歳未満（F4 F7 F8 F9 F50）	998	162
F6	13	4
F7 F8 F9 他	1584	201

3) 学術活動

日本精神神経学会、日本病院地域精神医学会、日本児童青年期精神医学会、日本アルコール関連問題学会、日本精神科救急学会、日本司法精神医学会、自治体病院協議会、児童精神科医療施設協議会等への参加、発表を行っています。

4) 導入機器

平成28年より光トポグラフィが設置され、平成29年4月よりMRI、SPECT装置が設置され運用しています。



プログラムの概要



本プログラムの施設群は 22 の施設群から成っている。1～2 年は研修基幹施設、加えて研修連携施設をローテートして研修する。専攻医は年 10 名を予定している。研修基幹施設である兵庫県立ひょうごこころの医療センターは公立単科精神病院であり、様々な専門病棟を有している。

各人のライフプランに応じて、柔軟な研修計画を立てるが、原則として 1～2 年は充実した指導の下で主要な精神疾患の患者を受け持ち、面接法、診断と治療計画、精神療法、薬物療法の基本を学ぶ。さらに、思春期症例、アルコール依存症、難治性精神疾患治療(m-ECT、クロザピン)等、臨床を幅広く経験し、研究発表・学会発表についても指導を受ける。

また、大学病院(神戸大学医学部附属病院)、総合病院精神科(兵庫県立尼崎総合医療センター、兵庫県立淡路医療センター、神戸市立医療センター中央市民病院、市立加西病院、加古川中央市民病院、公立豊岡病院組合立豊岡病院、大阪府済生会中津病院、高槻病院)、私立精神科病院(姫路北病院、関西青少年サナトリウム、新生病院、ウトナイ病院、大植病院、仁恵病院、三田西病院、向陽病院)をローテートし、身体合併症治療、重度かつ慢性症例、急性期症例、児童思春期症例、認知症症例を幅広く経験し、精神療法、薬物療法を主体とする治療手技、生物学的検査・心理検査などの検査手法、精神保健福祉法や社会資源についての知識と技術を深めていく。さらに、児童思春期専門機関(兵庫県立こども病院、姫路市総合福祉通園センター)、認知症専門機関(兵庫県立はりま姫路総合医療センター)、精神保健行政機関(兵庫県精神保健福祉センター)などの各専門機関と連携している。

本研修プログラムから多くの有能な精神科専門医が生まれるよう、それぞれの希望に沿った丁寧な研修の提供を目指している。

研修連携施設

神戸大学医学部附属病院
兵庫県立尼崎総合医療センター
兵庫県立淡路医療センター
神戸市立医療センター中央市民病院
市立加西病院
加古川中央市民病院
公立豊岡病院組合立豊岡病院
大阪府済生会中津病院
高槻病院
兵庫県立こども病院

兵庫県立はりま姫路総合医療センター
 姫路市総合福祉通園センター
 姫路北病院
 関西青少年サナトリウム
 新生病院
 ウトナイ病院
 大植病院
 仁恵病院
 三田西病院
 向陽病院
 兵庫県精神保健福祉センター

<ローテーション例>

1 年目前半 1 年目後半 2 年目前半 2 年目後半 3 年目前半 3 年目後半

当院 (急性期・救急)	当院 (依存症)	当院 (児童)	公立総合病院	当院 (急性期・救急)
当院 (急性期・救急)	当院 (児童)	当院 (依存症)	大学病院	
当院 (急性期・救急)	当院 (依存症)	当院 (児童)	当院 (児童)	こども病院
公立総合病院	当院 (急性期・救急)	当院 (依存症)	当院 (児童)	大学病院
当院 (急性期・救急)	当院 (依存症)	大学病院	民間病院	
民間病院	当院 (急性期・救急)	当院 (急性期・救急)	公立総合病院	

<週間・年間計画>

週間計画

急性期・救急研修プログラム(例)

	月	火	水	木	金
午前	医局会 救急カンファレンス	救急カンファレンス 回診当番	救急カンファレンス	救急カンファレンス 救急当番	新入院カンファ 救急カンファレンス
午後	認知症外来陪席 電気けいれん療法	病棟業務	救急外来・再診外 来陪席	救急当番	電気けいれん療法 病棟業務
17 時 以降			医局カンファレンス 鑑定検討会 (3 か月に 1 回)		

アルコール依存症研修プログラム(例)

	月	火	水	木	金
午前	医局会 救急カンファレンス	救急カンファレンス	救急カンファレンス	救急カンファレンス 初診外来陪席	新入院カンファ 救急カンファレンス
午後	救急外来・再診外 来陪席 病棟業務	アルコール外来初 診陪席 病棟業務	病棟カンファレンス 病棟業務	院内断酒会	リカバリーミーティ ング 病棟業務
17 時 以降			医局カンファレンス 鑑定検討会 (3 か月に 1 回)		

児童思春期研修プログラム(例)

	月	火	水	木	金
午前	医局会 救急カンファレンス 病棟カンファレンス	救急カンファレンス	救急カンファレンス	救急カンファレンス	新入院カンファレン ス 救急カンファレンス
午後	児童初診カンファ 児童思春期外来 陪席	病棟業務	病棟業務	救急外来・再診外 来陪席・病棟業務	病棟業務
17 時 以降			医局カンファレンス 鑑定検討会 (3 か月に 1 回)		子どもの心の診療 ネットワーク事業 症例検討会 (不定期)

年間計画

4 月	オリエンテーション
5 月	
6 月	日本精神神経学会総会参加 日本司法精神医学会参加 一時救命処置(BLS)研修 包括的暴力防止プログラム(CVPPP)研修
7 月	子どもの心の診療ネットワーク事業症例検討会
8 月	近畿精神神経学会参加
9 月	兵庫県立病院学会参加・演題発表 子どもの心の診療ネットワーク事業症例検討会
10 月	日本アルコール関連問題学会参加・演題発表 日本児童青年精神医学会参加 CVPPP 研修
11 月	子どもの心の診療ネットワーク事業症例検討会
12 月	日本精神科救急学会参加・演題発表 子どもの心の診療ネットワーク事業症例検討会
1 月	子どもの心の診療ネットワーク事業症例検討会
2 月	近畿精神神経学会参加・演題発表 CVPPP 研修 全国児童精神科医療施設協議会参加
3 月	子どもの心の診療ネットワーク事業症例検討会

教育スタッフ

2025年4月現在、精神科常勤医師36名（専攻医を含む）、精神科専門医制度指導医8名、精神保健指定医12名、臨床研修指導医8名が、常勤スタッフとして、専攻医の指導を行っています。

カンファレンスについて

- ・新入院カンファレンス(毎週金曜日): その週に入院となった患者の情報共有
- ・救急カンファレンス(平日 毎朝): 医局にて行動制限中の患者の情報共有
- ・児童思春期病棟カンファレンス(毎週月曜日): 新入院患者の情報共有と症例検討
- ・医局カンファレンス(毎週水曜日 17 時～) 症例検討会を中心に行っている。(月 1 回レクチャー)
- ・指定医レポート検討会、外来初診の検討会等(随時)(医局カンファレンス後 18 時～)
- ・鑑定検討会(3 か月に 1 度 水曜日) 本鑑定または医療観察法鑑定の症例を検討
- ・措置解除症例検討会(随時)
- ・電気痙攣療法の症例検討会(随時)
- ・専攻医向けのレクチャー

設備等

机、ロッカー、本棚は医局内に個々人に配備されています。各自の机から LAN でインターネットにつながることが出来ます。医局のパソコンからは医中誌、Pubmed にアクセスし文献検索を行うことができ、文献の取り寄せは総務課を通じて公費で行っています。院内図書館の蔵書数は約 6000 冊、購読雑誌は「精神神経学雑誌」、「臨床精神医学」など和雑誌 21 タイトル、洋雑誌 19 タイトルです。UPToDate も導入されています。当直室にはそれぞれシャワールームが整備されアメニティに配慮しています。

研修後の勤務先

研修終了後の勤務先については、研修中から希望に応じた病院等を探すことをお勧めします。キャリア形成に応じた勤務先選択についての相談に応じることが可能です。

大学院進学

当センターは神戸大学大学院の医科学専攻・内科学講座・精神医学分野・精神疾患高度医療探索学部門として位置づけられています。専攻する分野に対応する授業として臨床研究及び実習を行ないます。臨床現場にある研究シーズを拾い上げ、より高度な臨床技能とリサーチマインドを兼ね備えたクリニシャンサイエンティスト（臨床研究医）を養成することを目的としています。関心のある方はご相談下さい。

専攻医募集要項

〈研修内容〉指導医の指導の下、豊富な臨床経験を積み、精神科全般における適切な診断、治療、面接技法を指導します。

〈研修期間〉原則3年としています。

〈募集人数〉10名

〈応募資格〉医師免許を有し、採用時において卒後2年間の臨床研修を修了した者で、かつ医師免許取得後3～5年目の者(ただし、医師免許取得後6年目以上の者で研修を希望される場合は別途お問い合わせください)

〈待遇〉正規職員に準じます(詳細はお問い合わせください)。

卒後3年次 年額850万円、卒後4年次 年額900万円、卒後5年次 年額950万円(諸手当含む平均実績)

※学会出張費の支給は原則年2回

〈社会保険〉社会保険、雇用保険の適用あり

〈宿舎・住宅〉希望者に提供可能

〈勤務内容〉当院の研修プログラムに基づき、入院患者および外来患者の診療等に従事します。週5日勤務、日・当直回数は月4回程度。なお、日・当直は精神保健指定医との2人体制。

〈応募期間〉日本専門医機構のスケジュールに従います。採用面接は夏ごろを予定しています。

〈採用予定時期〉2026年4月1日

〈応募手続き〉以下の書類一式を持参または郵送してください。

- ・履歴書(写真貼付)
- ・(様式1)【志望理由記入表】 [⇒Word ファイルダウンロード](#)
- ・医師免許証(写)

〈選考方法〉応募書類審査および面接

〈病院見学〉随時、見学を受け付けています。下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

〈応募連絡先〉

〒651-1242 兵庫県神戸市北区山田町上谷上登り尾 3

兵庫県立ひょうごこころの医療センター 総務課

TEL:078-581-1013 FAX:078-583-3797

E-mail: kokoro_hos@pref.hyogo.lg.jp

※専攻医は当専門研修プログラムへの採用後、研修施設群のいずれかの施設と雇用契約を結ぶことになります。

〈お問い合わせ先〉

病院見学や、研修についての質問など、お気軽にお問い合わせください。

兵庫県立ひょうごこころの医療センター

〒651-1242 神戸市北区山田町上谷上字登り尾3

専攻医募集担当 真殿 明

金田 浩平

袋井 奈己

TEL:078-581-1013 FAX:078-583-3797

E-mail: kofu_ikyoku@pref.hyogo.lg.jp

HP: <http://hmhc.jp/>

